

令和 2 年度

法人運営事業計画

社会福祉法人

わらしべ舎

社会福祉法人わらしべ舎（以下「当法人」という。）は、設立30年を迎え、この間当法人が持つ自主性と独自性を発揮しながら、事業を展開してきました。

長年の懸案であった新施設が、令和3年4月に開設されるにあたり、今年度はその取り組みを重点的に行いながら、さらに当法人として地域から信頼され、理念である「地域の中で共に生きる」を実現するために下記の事業について取り組みます。

1. 新施設開設に向けた取り組みについて

令和3年4月に開所される新施設（仮称「羽黒台工房」）に向けて、施設内にチームを作り、事業内容や新規利用者の受け入れ準備、関連する書類等の整備、また、関係機関と連携を図りながら、取り組みを進めていきます。

2. 法人設立30周年記念事業の実施

利用者・家族・地域・職員など、これまで当法人と関わりのある人たちの参加を含め、30年を振り替える内容の記念事業を実施します。

3. 安定的な経営とガバナンス強化について

信頼される法人・施設を目指して、コンプライアンスの遵守と事故防止の徹底に努めます。また、安定的経営のために会計事務所の指導・助言を基に経営状況の把握と適正な予算執行に取り組みます。

4. 人材育成と職場環境の整備について

質の高い福祉サービスの提供と質の高い職員育成に向けて研修（施設内・外）体制の充実を図り、職員個々の支援スキルの向上に努めていきます。また、職員が働きやすく、お互いに意見が言える風通しの良い職場環境に取り組んでいきます。

5. 地域及び他団体との連携について

地域及び他団体と連携しながら地域福祉について取り組みます。また、仙団協を通して福祉課題等への提言・要望を行っていきます。

令和2年度

事業活動計画

社会福祉法人

わらしべ舎

多機能型事業所わらしべ舎西多賀工房

○本年度で18年目を迎えるわらしべ舎西多賀工房は利用者の状態や取り巻く環境の変化、また事業所に求められる役割変化等に伴い、これまでの取り組みや環境の見直しが必要になってきています。新施設開所を一つのきっかけにし、様々な変化に対応するために、取り組みや環境の見直しを図る一年としていきます。

○来年度（令和3年度）開所予定の新施設（(仮称)わらしべ舎羽黒台工房）のため、前倒して職員採用と重症心身障害者や行動障害者の受入れを行っていくための支援者の研修を行っていきます。利用者の増員はないが、今まで以上に支援学校からの実習生の受入れと新人職員の育成に力を注いでいきます。

<生活介護事業>

<事業方針>

- 利用者が持っている力を発揮できるよう支援します
- 利用者が地域社会においてよりよい生活が送れるよう支援します
- 利用者が健康で安全に過ごすことができるよう支援します
- 利用者が作業や活動にやりがいや自信を持てるよう支援します
- 利用者が自分で選択し、好きなことを楽しめるよう支援します

<重点目標>

- ① 利用者の作業能力の向上と個々の活動の幅を広げます
- ② 余暇活動の充実と多様化を図ります
- ③ 売上向上に向けた商品開発と委託作業の拡大を図ります
- ④ 支援員間の連携の強化と支援の質の向上及び育成を図ります

<実施計画・内容>

- ① 利用者の能力や特性、興味に応じた作業の提供や環境づくりを行います
- ② 毎週、季節ごと、年間でのレクリエーションを計画し、班全体で、グループで、個別で利用者が楽しく参加できるレクリエーションを実施します
- ③ 生ごみ処理機から出る堆肥の商品化を目指します
 - ・ガジェットプリンターを活用した新しい商品開発を行います
- ④ 各種研修会に積極的に参加し、研修報告、勉強会、啓発等を行い支援員間の情報共有を徹底します
 - ・「ヒヤリハット」報告を迅速に行い、支援体制の見直しや方法の改善を全体で共有し合い、より良い支援に繋げていきます

<就労継続支援B型事業>

<事業方針>

- 利用者の能力と意欲を尊重し、所得の向上を目指した作業の確保と生産に努めます
- 利用者が心身ともに健康で過ごせるように努め、また自立した地域生活が送れるよう支援します
- 安心・安全な食の提供並びに製造業務を行うために、衛生管理・事故防止の徹底に努めます

<重点目標>

- ① 一人ひとりの個別ニーズに適した作業や生活の支援を充実させます
- ② 工賃アップに向けて、サービス内容の向上と広報活動の強化を行います
- ③ 積極的に地域貢献活動を行います
- ④ 食品や製品の衛生管理を徹底します

<実施計画・内容>

① 【カレー班】【石けん班】

- ・利用者との面談を行い、ニーズ把握やアセスメントをはかり、支援計画を充実させていきます
- ・「心身のリラックス」や「利用者間のコミュニケーション」の円滑化を目的にしたレクリエーションを実施します
- ・自立に対して本人がイメージしやすくなるよう自立生活（グループホーム含む）に関する学習会を行います

② 【カレー班】

- ・チラシをリニューアルし、地域へのチラシポスティングを実施します
- ・お中元・お歳暮商品をネットショップに期間限定で販売します
- ・接客の技術向上を目的に、利用者に対して施設内研修会を設けます

【石けん班】

- ・チラシをリニューアルし、石けんの営業を実施します
- ・委託作業を取り入れていきます（カレー班のチラシポスティング、レトルト販売、テイクアウトカレーの配達等）
- ・利用者の支援学校母校販売を定期的に行います

③ 【カレー班】【石けん班】

- ・地域のごみ拾い活動や花壇の草取りを実施します
- ・天沼浄化活動、三神峯はあとふる商店会や地域の催しに参加します

④ 【カレー班】

- ・衛生講習会を実施します（4月：食品業務に関する衛生全般 6月：食中毒 11月：ノロウイルス）

【石けん班】

- ・利用者が安全に作業を行えるよう、利用者ミーティングを実施します（随時）

共同生活援助（グループホーム）事業

入居者ご家族の高齢化等に伴い、入居者の取り巻く環境は、大きく変わってきている時期を迎えています。週末には自宅に戻り、平日はグループホームという生活を送っていた入居者も、受け止める側のご家族の状態の変化から、グループホームでの生活に移らざるおえなくなっております。これらの現状を踏まえ、家族に代わって、入居者の生活全般を支援していくために「支援体制の確立」と「通院等の健康管理」、「休日の余暇支援」に力を入れ取り組んでいきます。

<事業方針>

地域との関係を築きながら、入居者が安定した自立生活を送れるよう支援します

<重点目標>

- ① 余暇の充実を行います
- ② 各ホーム入居者特性に合わせたサービス内容確立を行います
- ③ 安定した支援体制を確保していきます
- ④ 支援者のスキルアップを行います
- ⑤ 緊急支援体制の確立を行います

<実施計画・内容>

- ① 体制作りとサービス（移動支援）活用の促進を行います
 - ・地域行事等へ積極的に参加します
- ② 週末のホーム利用を促進し、余暇を楽しめる支援や環境作りを行います
- ③ 積極的な募集を行い、採用後のフォローアップ、働きやすい環境整備を行います
- ④ 法人内部で人材交流を図り、お互いに学び合う機会を作ります
 - ・グループホーム連絡会等を通じて、積極的に情報交換を行います
- ⑤ 日中活動職員も含めたバックアップ体制を作ります
 - ・ご家族、嘱託医、罹りつけ医、看護師等の専門職と連携を図り、必要に応じて通院支援を行います

仙台市障害者家族支援等推進事業（レスパイト事業）

ひだまりステイ

障害の特性や受入れ先不足等の理由から、ショートステイや日中一時支援等のサービスが受けられず、一時的な利用を希望する利用者に対して、一対一の支援を基本にして、様々な障害特性、年齢問わず、受け入れを行っています。支援者の支援力向上・人材育成等はレスパイト連絡協議会を通して、事業所間全体で取り組んでいきます。

<事業方針>

在宅の障害者（児）に対し、手軽に利用できる介護サービスを提供することにより、在宅の障害者(児)及びその家族の地域生活を支援します

<重点目標>

- ① 利用登録者の緊急利用ニーズへの対応を強化します
- ② 介護人材を確保します

<実施計画・内容>

- ① ・登録時の情報はもとより、過去の緊急事例やご家族とのコミュニケーション、ご本人が利用する他の事業所の最新の情報などから予想される緊急利用ニーズを洗い出します
・洗い出したニーズの緊急性に優先順位をつけ、それぞれの受け入れ調整方法の工夫を図ります
・ご家族の生活状況に有意義な利用方法を提案していくことでそれぞれの緊急性の緩和を図ります
- ② ・大学、専門学校への訪問等を行います
・職場見学、説明会の開催（他事業所との合同開催含む）を行います
・レスパイト事業共同ブログでの広報活動を行います
・介護人を対象とした研修会等（他事業所との合同での実施含む）を行います

<目標介護実績時間・登録者数>

		内 訳
介護時間	2500 時間	日中介護：950 時間 宿泊介護：1200 時間 外出介護：30 時間 自宅介護：20 時間 送迎介護：300 時間
登録者数	35 名	